

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
建築学科											
ものづくり実習2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	真田一穂 天野奈緒			実務 経験	有	職種	国内外の建築設計事務所にて建築設計監理業務に従事				
授業概要											
ものづくり実習1で学んだ形態操作による造形力を活かし、ものづくり実習2では、身体寸法、機能性、荷重について考慮が必要な、椅子の制作に取り組む。家具は、建築空間と常に三位一体として必要なアイテムである。特に椅子は人間の動作の中でも最も活用される家具である。「すわる」というプリミティブな動作について、既成概念に捕らわれない、オリジナリティのある椅子のデザインを創作してほしい。第二課題は、テーマを自由とした制作とする。材料は、学科支給のダンボール板を共通の材料として使用する。											
到達目標											
ダンボールチェア（1／1モデル）の制作に必要な基本要件を理解し、家具（椅子）のデザイン、設計、制作ができることを目標とする。第二課題はテーマを自由とし、各自オリジナリティのあるダンボールクラフトの制作を行う。①ダンボールチェアの基本的な知識や技能を習得し、計画性を持って制作できる力を身につけることができる。②様々なデザイン作品を鑑賞し、イメージを膨らませながら、自らのデザインによるアイデアのスケッチができる。③作品発表において作品についてのコンセプトを伝え、他者との意見交換ができる。											
授業方法											
毎授業ごとのシラバスの内容に従い授業を進捗する。担当講師から説明される各回ごとに取り組む作業内容をしっかりと把握し、各自作業を進める。人間の身体寸法、動作について観察し、「すわる」という機能について、既成概念に捕らわれないでデザインの提案を行う。オリジナリティのある様々なダンボールチェアを創作してほしい。また、担当講師による授業講義において、椅子のデザイン、産業技術等につまわる歴史及び作品について学ぶ。											
成績評価方法											
提出物、授業態度、平常点などを総合的に判断する。											
履修上の注意											
授業時間中の指導、講義、作業に加え、授業外の時間での思考、検討、作業等、個々の到達目標に合わせて効果的に取り組むこと。各回、必要な道具等が異なるので、忘れ物のないように事前準備の確認を怠らないこと。											
教科書教材											
毎回資料を配布する。参考書・参考資料等は授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	①ガイダンス（授業内容の概要、成績評価の方法等を説明する）②世界の有名デザイン椅子の紹介（担当講師レクチャー）【課題1】「私が好きな椅子」というテーマで各自が椅子について調べる写真データclassroom提出 次回授業で発表										
第2回	【課題1】「私が好きな椅子」課題クラス内発表及び講評会開催										
第3回	【課題2】「直材構成の椅子」のデザインを考える①椅子についての基礎知識を学ぶ。椅子の人間工学、椅子の設計と人体寸法について考える。②直材構成の椅子という条件に従って各自オリジナルの木製椅子を設計する。③直材構成の椅子のエスキス（エスキースチェック① 担当講師）										

第4回	①直材構成の椅子のエスキス（エスキースチェック②担当講師）②家具設計に求められる基本要件（機能・強度・寸法・材料・形態）について検討する。③モデル制作（1） スタディモデル（1/5 スチレンボード）制作開始 1時限目・2時限目
第5回	モデル制作（2） 1時限目・2時限目
第6回	モデル制作（3） 1時限目・2時限目
第7回	【課題2】「直材構成の椅子」作品展示・発表会（全員）・講評会
第8回	【課題3】ダンボールチェア制作前回までの経験を活かし、原寸モデル（1/1）の制作にチャレンジする。スタディモデルを参照し、改善点、改良点について検討し、1/1スケールの原寸モデルを制作する。素材は、板段ボールとし、板段ボールは学科から支給する。原寸モデル制作（1）
第9回	原寸モデル制作（2）
第10回	原寸モデル制作（3）
第11回	【課題3】ダンボールチェア作品展示・発表会（全員）・講評会
第12回	【課題4】ダンボールクラフト制作テーマは自由 ①ダンボールクラフト制作（1）
第13回	ダンボールクラフト制作（2）
第14回	ダンボールクラフト制作（3）
第15回	【課題4】ダンボールクラフト作品展示・発表会（全員）・講評会